

令和元年度松楠会支援事業報告書

- 1 事業名 動くおもちゃ作り・木工教室
- 2 対象 さぬき・東かがわ市内 園児・小学生（地域行事等では、中・高生も含む）
- 3 開催期間・実施回数 平成31年4月～令和2年2月にかけて、20回実施した。
- 4 趣旨・目的

近年、子どもたちは情報機器活用能力には長けているが、手先を使ってもの作りをする経験が非常に少なくなっている。そのため、理科の授業での実験観察の技能は年々劣ってきており、理科離れが進んでいる。

そこで、松楠会大川支部の理科・技術科教員 O.B 等が集まって、体験教室を開き、7年が終了した。（支援事業としては4年<平成27・28・30年度、令和元年度>が終了した。）その間、趣旨に賛同する教職員や、地域のボランティア団体会員等も参加協力を得た。

身近にある材料を使って、簡単にできる動くおもちゃや木工作品を作って遊んだり使ったりすることで、科学の楽しさ面白さ・実用品を自分で作って使う楽しさを味わわせたい。

5 構成員

代表者 多田照代 他 松楠会員 15名他

参加児童等 延べ 1,254名 参加構成員 延べ 123名

6 成果

・さぬき市内の放課後児童クラブやこども教室からの依頼が多くあり、参加した児童は初めての経験で新鮮だったのか大変喜ばれた。

・参加した子どもは、出来上がるのを待ちかねて、作ったおもちゃで繰り返し遊び、楽しんでくれた。

・指導者が松楠会会員（教員 O.B が中心）なので、保護者や依頼された関係者の信頼が得られ開催しやすかった。

・年度を重ねるたびに、活動の良さが多方面に伝わり、長期休業以外にも要請があるようになった。

・市民文化祭や地域のイベントで動くおもちゃ作りを実施することで、中・高生や親子づれにもおもちゃ作りを体験してもらうことができた。また、中・高生ボランティアの協力を得ることができた。

・構成員や地域の協力ボランティアは、会を重ねるごとに作り方の指導や、子どもの発達段階に合わせた指導が熟練してきている。

・材料の準備は、時間・場所等の都合で限られた者で実施してきていたが、参加者が事前に集まって、材料の準備をすることにより、子どもたちに教えるときの要領がよく分かれると好評だった。特定の者の材料準備の負担軽減にもなった。

・活動を通して疎遠であった松楠会員が集い、子どもたちとのふれあいを楽しみ、また自らの親交を深めることができた。

・香川大学教育学部同窓会（松楠会）の支援を受けて実施しているので、材料費や講師謝金も必要ないということで依頼者から喜ばれた。

7 活動の様子（紙面の都合で一部掲載）
ひまわりこども園 （ロールペーパーの糸車）



大川公民館 動くおもちゃ作り教室（スイスイネコとレーシングカー）



大川公民館 木工教室（動物の振り子時計）

